

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 345

事務事業名	東浦地区漁礁・増殖場整備事業
-------	----------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農業水産課		
課長名	下玉利 輝幸	内線	266
担当者名	工藤 貴志	内線	251

基本目標	040106	活力に満ちた産業のまち
政策		魅力ある農林水産業の振興
施策		水産業の振興
関連施策		

会計	一般	
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費
事業コード	060000	

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	大村湾東部漁業協同組合の漁場地先		
意図	大村湾東部漁協の漁場では永年のヘドロ堆積により、年々、漁獲量が減少していることから、漁礁及び増殖場の整備を行う。また、堆積物の除去として浚渫を実施し漁場の整備を行う。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁礁ブロック30基 (縦9.37m×横9.01m×高さ3.90m)</li> <li>・増殖場(投石)2,500m<sup>3</sup> (L=100m B=50m H=1.0m)2箇所</li> <li>・浚渫20,000m<sup>3</sup></li> </ul>		
事業期間	平成 27 年度 ~ 平成 32 年度	実施方法	補助

成果指標名	魚類及びナマコ等の漁獲量			算定式等 H27:ナマコ漁獲量 3.0t
着手前現状値	平成 26 年度	単位 t	3	
完了後計画値	平成 33 年度		10	

【DO(実施)】

事業実施項目		25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額	0	0	4,370	6,419	0	0	0	10,789
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	40.50%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	
実施設計	実績・計画額	0	0	0	0	0	15,000	0	15,000
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	100.00%	
用地・補償	実績・計画額	0	0	0	0	0	0	0	0
	項目別進捗率								
建設工事	実績・計画額	0	0	0	0	0	0	50,000	105,000
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	47.62%	
事務費等	実績・計画額	0	0	11	13	13	13	13	76
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	14.47%	31.58%	48.68%	65.79%	82.89%	
合計	実績・計画額	0	0	4,381	6,432	13	15,013	50,013	130,865
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	3.35%	8.26%	8.27%	19.74%	57.96%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	0	4,381	6,432	13	15,013	50,013	120,000
国庫支出金						7,500	25,000	60,000
県支出金						2,625	8,750	21,000
地方債								
その他								
一般財源			4,381	6,432	13	4,888	16,263	39,000
② 人件費(千円)	0	0	810	1,244	事業内容	事業内容	事業内容	B/C
職員人数(人)			0.11	0.16	長崎県の審査会の諮問	実施設計	漁礁ブロック投石	-
時間外勤務(時間)			17	40				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	0	0	5,191	7,676				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成27年度に漁業環境調査が完了。 平成28年度は漁礁・増殖場整備計画書(基本計画書)を策定する予定。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	漁礁ブロックを設置することは、大村湾東部漁協海域の主要漁獲物である、スズキ・チヌ等の魚類やタイワンガザミ・シヤコ等の甲殻類などの資源を回復させる増殖効果が高い。また、増殖場整備はナマコの増殖効果が非常に高いことから必要である。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	青潮による海水の貧酸素状態や海底のヘドロ化等により、年々魚類やナマコの漁獲量の減少状況を回避するには、早急に海底の浚渫を行い、漁礁ブロックの設置や増殖場の整備を行う必要があり緊急性は非常に高い。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	計画書策定については、専門のコンサルタント会社に委託し、工事については、国の漁村再生交付金事業を活用して、事業の効率的な実施に努める。						
負担割合	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	負担割合は、国の補助基準に基づいた事業実施を行うこととしている。						

【ACTION(改善・改革)】

<input checked="" type="checkbox"/> 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	
--	-------------------------------	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	H30年度から国の補助事業として、新たに採択を得るため、平成29年度は採択に必要な資料作成を行う。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。